

気持ちよく すごせる家



快適で省エネ、
寒さを感じさせない
家づくり宣言。

- トイレや廊下等、どこにいても家じゅう暖かい家をつくります！
- 独自のシステムで超省エネ・省コストを約束します！
- 調湿機能により高耐久性となり家が長持ちします！
- 快適な湿度と温度でいつもきれいな空気の家をつくります！

こおげ建設の家づくり



キッチンには地震の揺れによって凶器に変わる物がたくさんあります。電化製品や割れやすい食器や瓶もこれに相当します。

地震で怖いのは火事です。調理中だった場合はその場で直ぐに火を消しましょう。しかし、揺れている最中に遠くまで火を消しに行くのは危険です。最近のガスコンロは大きな揺れを感じると、ガスが自動的に止まる自動遮断装置付きのものも多いかと思えます。身の危険を冒してまで、火を消しに行かないようにしましょう。



台所に居る時編

地震はいつ来るか分かりません。そんな地震に対して日頃からシミュレーションしておくことが大切です。さて突然揺れた時、次の行動が直ぐに思い浮かびますか？

地震

が起きたら
まず何を



発行/こおげ建設(株)
八頭郡八頭町宮谷200番地2
TEL (0858) 72-0029 FAX (0858) 73-0668
E-mail: info@koge.co.jp
<http://www.koge.co.jp>

Boo Foo Woo
Vol. 86
2018. 11. 24 Sat

人が家が健康になる
健康空気循環システム



高気密 高断熱
ファースの家

Never give up
がんばろう日本！
つなげる想い・つなげる希望



寝室に居る時編

大震災時、家具の下敷きになって亡くなった人が多かったことから、出来ることなら寝室には背の高い家具を置かないようにしましょう。

地震がきたら、まずは部屋のドアや玄関のドアを開け避難路を確保しましょう。そうすることで、建物が倒壊しそうな揺れを感じたらすぐに脱出することが出来ます。ガラスなどの破片だけが飛ぶことも想定できますので、日頃から靴やヘルメットを準備しておくことも必要です。

トイレ・お風呂編

昔は柱に囲まれた狭いトイレ空間が安全だと思われていましたが、今は建築方法が以前と違い、トイレは柱で器具られていない場合もあります。

また、落下物によってトイレに閉じこめられてしまつても可能性も高いので、すぐにドアを開け玄関などの安全ゾーンに移動するようにしましょう。

もし、入浴中に地震が起こったら、浴室は鏡やガラスが多く、揺れで破損物が飛び散りケガをしやすいので、注意が必要ですよ。まずは洗面器やお風呂のふたなどを頭にかぶっている嫌バスタオルを持って、いつでも逃げ

2階に居る時編

古い木造一軒家の場合は地震で倒壊する恐れがあります。大震災時では死亡した約8割の人の死因が建物倒壊による圧死でしたので、1階に居たらすぐにドアを開けて外に逃げるようにしましょう。

木造住宅の2階に居たとしても、素早く階下に降りて、外へ脱出するという方法もありますが、大揺れの中で無理に階下へ降りなくてもいい場合もあります。たとえ、家がつぶれたとしても2階の方が重いものが少ない分、空間に隙間がでやすいので、生き延びる可能性は高いことがあります。

閉じ込められた！

万が一、倒れた家具や壁の下敷きになって身動きが取れなくなった対策としてはとにかくあわてないことです。

無理に身体を動かそうとせず、何が倒れてきたのか？ケガはないのか？などの状況を把握するようにしてください。身動きが出来ないことがわかったら近くに存在するものを叩いて音を出したり、笛を鳴らしたりして存在に気づいてもらうことが大切です。やたらに声を出して叫んでも、体力を消耗するだけです。

どん太くんのちよつといい話

クリスマスケーキ

あと約1か月でクリスマスもやってきますが、クリスマスケーキを食べる習慣って日本だけなんですか？

日本人はキリスト教徒も少ないですし、もともとクリスマスケーキを食べることは根付いていませんでした。

そこでお菓子の老舗メーカーの不二家さんが1922年に日本で初めてクリスマスケーキを販売し、「クリスマスにはケーキを食べましょう」と習慣づけるようにマーケティングを図ったとか。



スポンジケーキに生クリームを塗って砂糖でできたサンタや家などが飾られたものといちごがデコレーションされた定番のケーキの基本は不二家さんが作ったものだそうです。しかし当時は高価で一般市民が購入できるのではありませんでした。

一般的にクリスマスケーキが広まっていたのは、昭和50年代の1975年あたりからだそうです。

